

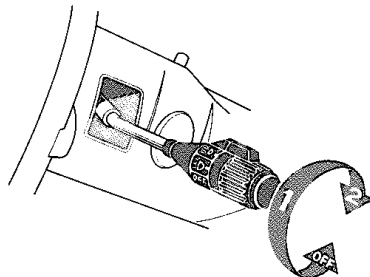
| | |
|-----------------------|----|
| スイッチの使い方 | 14 |
| ライト・コントロール・スイッチ | 14 |
| ターン・シグナル・レバー | 14 |
| ワイパー&ウォッシャー・スイッチ | 15 |
| リヤ・ワイパー | 15 |
| リヤ・ウインドウ・デフォッグ・スイッチ | 16 |
| パーキング・スイッチ | 17 |
| ハザード・ウォーニング・スイッチ | 17 |
| 運転装置の操作 | 17 |
| エンジン・スイッチ | 17 |
| エンジン始動 | 18 |
| シフト・レバー | 19 |
| オーバードライブ・メーン・スイッチ | 21 |
| パーキング・ブレーキ・レバー | 22 |
| チルト・ステアリングの調整 | 22 |
| ミラー調整 | 23 |
| E F I (電子制御式燃料噴射装置) | 23 |
| E S C (電子制御式スキッド防止装置) | 24 |
| オート・ドライブ | 24 |
| シートの調整 | 25 |
| フロント・シートの位置調整 | 25 |
| 上下アジャスター | 26 |
| ランバー・サポート (腰椎支持) | 27 |
| ヘッド・レストの位置調整 | 27 |
| フロント・シート・ベルト | 27 |
| リヤ・シート・ベルト | 29 |
| ハードトップ車の後席への乗り降り | 29 |
| ハードトップ車のリヤ・シートの倒し方 | 30 |
| リヤ・シート | 30 |

| | |
|-----------------|----|
| 室内装備の使い方 | 31 |
| 時計 | 31 |
| エンジン・キー照明 | 33 |
| ルーム・ランプとドアの関係 | 33 |
| フロント・パーソナル・ランプ | 33 |
| シガレット・ライター | 34 |
| 灰皿 | 34 |
| グローブ・ボックス | 34 |
| 化粧ミラー付きサン・バイザー | 35 |
| コンソール・ボックス | 35 |
| 車体各部の開閉 | 35 |
| ドアについて | 35 |
| チャイルド・プロテクター | 36 |
| 電磁式ドア・ロック | 36 |
| ワンタッチ式パワー・ウインドウ | 37 |
| エンジン・フード(ボンネット) | 38 |
| ガソリン・タンク・キャップ | 38 |
| トランク | 39 |
| バック・ドア | 39 |



スイッチの 使い方

■ ライト・コントロール・スイッチ



エンジン・スイッチに関係なく、ランプが点灯します。

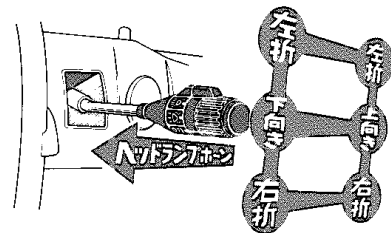
ノブを回すと①，②の位置で、次の○印のランプが点灯します。

| 灯 火 名 | ① | ② |
|--------------------|---|---|
| ヘ ッ ド ラ ン プ | ○ | ○ |
| クリアランス・ランプ，テール・ランプ | ○ | ○ |
| ナンバー・プレート・ランプ | ○ | ○ |
| メ ー タ ー 照 明 ラ ン プ | ○ | ○ |

ランプ消し忘れ警告ブザー*

走行後，ライト・コントロール・スイッチがONのままでエンジン・スイッチを切ると，ブザーが鳴りランプ類の消し忘れを警告します。

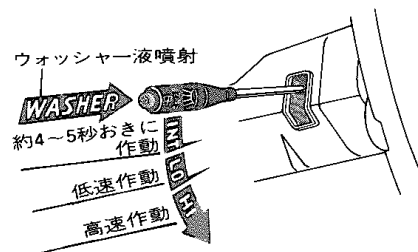
■ ターン・シグナル・レバー



レバーを手前に引くとヘッドランプが点灯し手をはなすと，もとの位置にもどります。これをヘッドランプ・ホーンといい，高速道路などで先行車を追い越すときなどの合図に使用します。

*印のついているものは巻末の装備品一覧表をご覧ください。

■ワイパー&ウォッシャー・スイッチ



STD車は、LOとHIの2段切り替えです。

ウォッシャー連動式ワイパー

STD車を除く

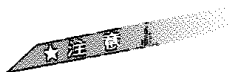
ウォッシャー・スイッチを押すとウォッシャー液を噴射し、後にワイパーが2~3回作動します。

★ウォッシャー液がカラのときは、ウォッシャー・スイッチを使用しないでください。ポンプを痛めることがあります。

★からぶきはガラスを傷つけることがあります。必ず、ウォッシャー液を噴射してからワイパーを作動させてください。

★寒冷時は、ワイパーを作動させる前

に、ブレードがガラスに張りついていないことを点検してください。凍結したまま作動させるとモーターが故障することがあります。



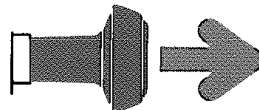
寒冷時にウォッシャーを使用するときはガラスに放射された液が凍結し、視界不良を起こすことがありますので先にウィンドウ・ガラスをデフロスターで暖めてください。

■リヤ・ワイパー*

ウォッシャー液噴射

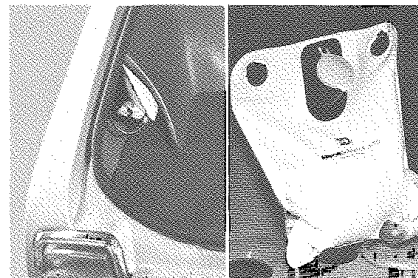


ワイパー作動



ウォッシャー・タンクの位置

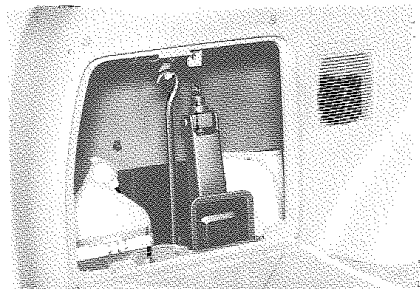
ハードトップ車



トランク・ルーム左側に取り付けてあります。

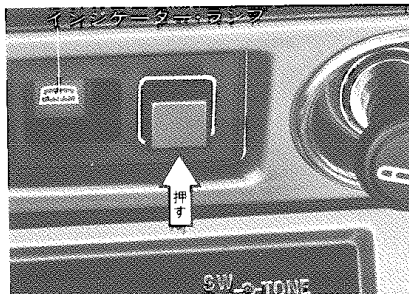
*印のついているものは巻末の装備品一覧表をご覧ください。

ワゴン/バン車



荷室の左側のカバー内に取り付けてあります。

■ リヤ・ウインドウ・デフォッグ・スイッチ *



リヤ・ウインドウが曇ったとき、ガラスの表面を暖めて、曇りを取ります。スイッチを押すとONになり、インジケーター・ランプが点灯し、作動していることを示します。

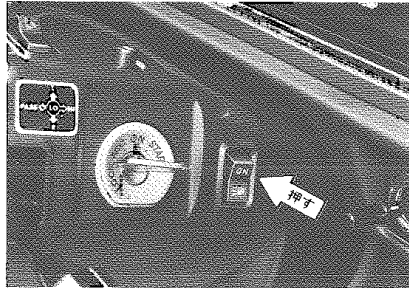
もう一度押すとOFFになります。

★リヤ・ウインドウの曇りが消えたら、スイッチは必ず切りましょう。デフォッグは消費電力が大きいので、スイッチを入れたままにしておくと、バッテリーあがりの原因になります。

★曇り取り以外には、使用しないでください。雨水の乾燥や雪を溶かすことはできません。

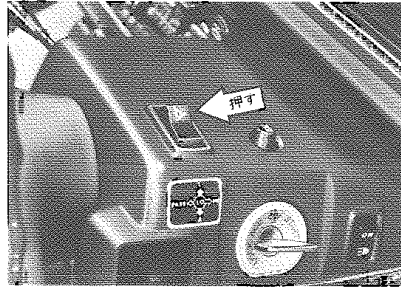
★熱線入りガラスの清掃は、ぬらした布で熱線にそって、軽くふいてください。ガラス・クリーナーなどは使用しないでください。

■パーキング・スイッチ



路上駐車時に使用します。
スイッチをONにすると、前後左右のパーキング・ランプが点灯します。

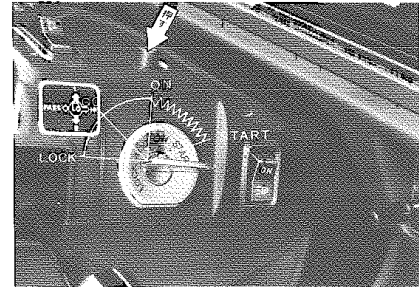
■ハザード・ウォーニング・スイッチ



故障などで、やむをえず路上駐車する場合、他車に知らせるために使用します。スイッチを押すと、すべてのターン・シグナル・ランプが点滅します。走行中、異常がないのに使用すると他車の誤解をまねき危険です。

運転装置の 操作

■エンジン・スイッチ



- LOCK**キーを抜き差しできる位置。キーを抜くと、ハンドルがロックされます。
- ACC**エンジン停止時、ラジオ、ステレオの聞ける位置。
- ON**エンジン回転中の位置。

START……エンジン始動をする位置。手をはなせば、自動的にONにもどります。

〈ロックするときは〉

プッシュ・ボタンを押しながらキーをLOCKの位置に回します。キーを抜くとハンドルがロックされ車両盗難防止に役立ちます。

★キーがLOCKからACCに回らないときは、ハンドルを軽く左右に動かしながら、キーをACCに回してください。

★バッテリーあがりを起こさないために、下記の事項を必ず守ってください。

1. エンジン停止時は、スイッチをLOCKまたはACCにする。
長時間停止する場合は、LOCKの位置にする。
2. エンジンがかからないとき、15秒以上STARTの位置へ回したままにしない。

3. エンジンを止めた状態(ON, ACC)で、ラジオやステレオを長時間つけたままにしない。

■エンジン始動

シフト・レバーの位置をマニュアル・トランスミッション車は⑮、オートマチック・トランスミッション車は⑯にします。

〈EFI車を除く〉

1. アクセル・ペダルを次表にしたがって踏み込みます。

| 外 気 温 | 踏 む 回 数 |
|----------|----------|
| +5℃以上 | 軽く1回 |
| +5℃～-10℃ | いっぱい1～2回 |
| -10℃以下 | いっぱい2～3回 |

2. アクセル・ペダルから足をはなし、エンジンを始動します。
3. しばらく暖機運転をします。
オート・チョークが働いていますのでエンジン回転は徐々に高くなります。
4. 回転が高くなったときは、アクセル・ペダルを軽く踏んでから足をはなし回転を下げてください。



エンジンが暖機されると自動的にアイ

ドル回転に下がりますが、暖機運転中は回転が高くなりすぎることがあります。外気温によってことなりますが約20℃のときであれば、エンジン始動後約30秒でアクセル・ペダルを軽く踏んではなし回転を下げてください。

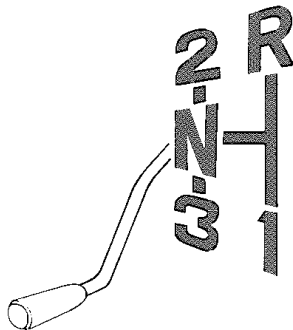
<EFI車>

1. アクセル・ペダルから足をはなしたままエンジンを始動します。
2. そのままで、しばらく暖機運転をします。暖機が終われば自動的にアイドル回転になります。

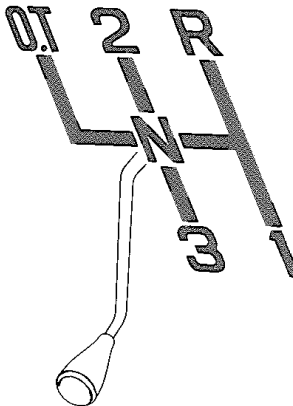
■シフト・レバー

マニュアル・トランスミッション

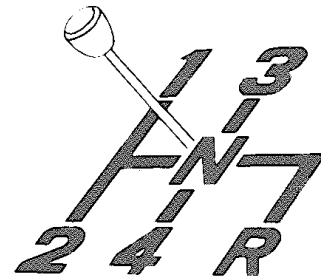
<3速コラム・シフト>



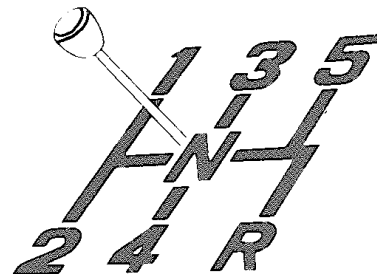
<4速コラム・シフト>



<4速フロア・シフト>



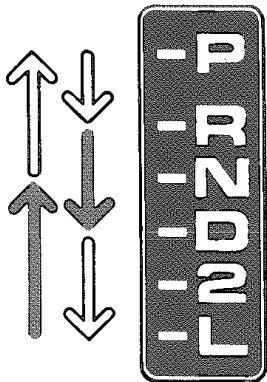
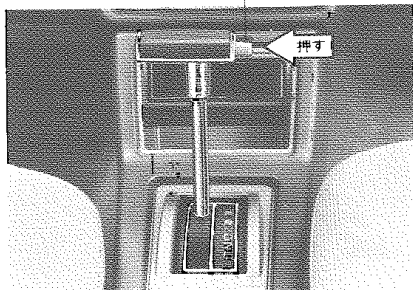
<5速フロア・シフト>



オートマチック・トランスミッション

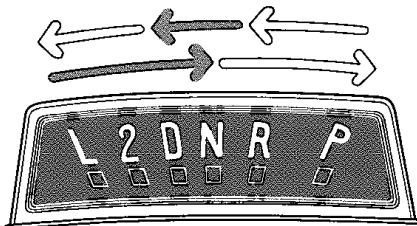
<フロア・シフト>

コントロール・レバー・ボタン



- そのまま動かします。
- コントロール・レバー・ボタンを押して動かします。

<コラム・シフト>



- そのまま動かします。
- 手前に引いて動かします。

各レンジの使いかた

⑰ パーキング・レンジ

駐車およびエンジン始動の位置

⑱ リバース・レンジ

バックさせるときの位置。

⑳ ニュートラル・レンジ

中立位置。この位置でもエンジンを始動することができますが、安全のために⑰レンジで始動しましょう。

㉑ ドライブ・レンジ

通常走行の位置。

㉒ セカンド・レンジ

エンジン・ブレーキが必要な場合に使う位置

㉓ ロー・レンジ

強力なエンジン・ブレーキが必要な場合に使う位置。

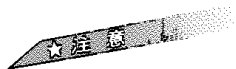
50km/h以上では使用しないでください。

運転のしかた

1. 通常は⑱で発進すると、ロー・ギヤからスピードによりセカンド・ギヤ、トップ・ギヤにと自動的に切り替わります。
2. マニュアル・トランスミッション車と同様に、㉓から発進し、㉒から⑱へと手動の操作でも運転できます。
3. 急坂路を下るときは、路面状態やスピードに応じて㉓または㉒に入れて、エンジン・ブレーキをかけます。
4. 追い越しなど急加速をしたいときは、アクセル・ペダルをいっぱい踏み込むと、レバーは⑱でも、ギヤはトップからスピードによりセカンド、またはロー・ギヤに切り

替わって急加速ができます。

(キック・ダウン操作)



1. エンジンを始動するときは、必ずパーキング・ブレーキ・レバーを引いてから行なってください。
2. ㊸と㊹へは、車が完全に止まってから入れてください。
3. 停車中、㊸以外ではエンジンを高回転にしないでください。
4. アクセル・ペダルを踏み込んだまま、㊹から㊸または㊹へ切り替えないでください。また、停車中にシフトするときは、ブレーキをかけた状態で行なってください。
5. 駐車時は、必ずパーキング・ブレーキをかけ、シフト・レバーを㊸にしてください。
6. ㊹から㊸へ完全にシフトしてから(1秒たって)アクセル・ペダルを踏み込み発進してください。
7. ㊸㊹以外で停車しているときはブレーキを踏むか、パーキング・ブレーキ・レバーを引いてください。

■オーバードライブ・メイン・スイッチ 〈オートマチック・トランスミッション車〉

2600 GRANDE車標準
LG Touring, 2000GRANDE車オプション



オーバードライブ装置付き車は3速オートマチック・トランスミッションにオーバードライブ装置を加え4速オートマチック・トランスミッションとしたものです。

1. 通常はオーバードライブ・メイン・スイッチをONにしておいてください。3速オートマチック・トランスミッションと同じ操作で4速オートマチック・トランスミッションとして使用することができます。
2. オーバードライブが作動している

ときは、ノブ内のインジケータールンプが点灯します。

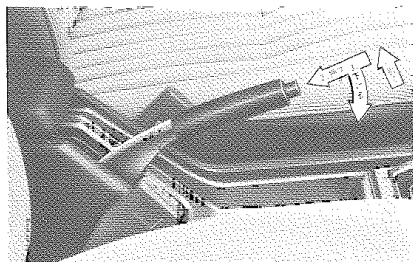
3. オーバードライブ・メイン・スイッチを引いて(OFFにして)おけば通常の3速オートマチック・トランスミッションになります。



1. 登山道路など長坂路を上り下りするときは、メイン・スイッチを引いておいてください。
2. 強いエンジン・ブレーキが必要なときは、スピードに応じて㊸または㊹に入れてください。ただし、すべりやすい路面では、タイヤがスリップして危険ですので急激なシフト・ダウンおよびエンジン・ブレーキはさけてください。

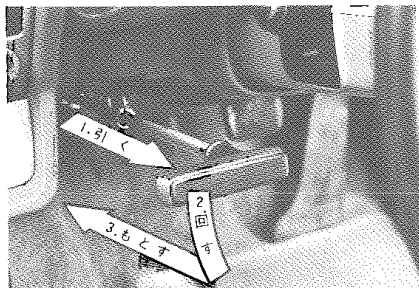
■パーキング・ブレーキ・レバー

フロア・シフト車



駐車時いっぱい引いて使用します。もどすときはレバーを少し引き上げながら先端のノブを押えてもどします。

コラム・シフト車



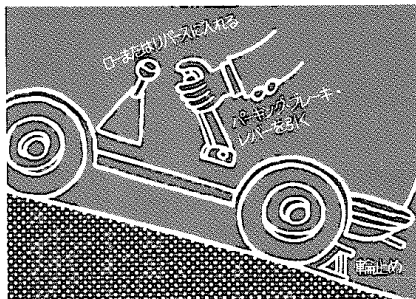
駐車時いっぱい引いて使用します。もどすときはレバーを軽く引きながら下に約60°回してもどします。

走行する前にレバーをもどして必ずブレーキ・ウォーニング・ランプが消えたことを確かめてください。



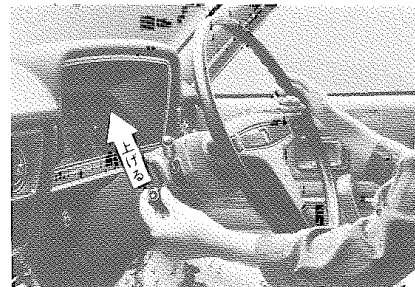
パーキング・ブレーキ・レバーを引いたまま走行するとブレーキの効きが悪くなるおそれがあります。

駐車のかた



パーキング・ブレーキ・レバーを引き、ギヤをローまたはリバース（オートマチック車は②の位置）に入れ、坂道では輪止めを忘れずにしてください。なお、急な坂道での駐車はなるべくさけてください。

■チルト・ステアリングの調整 *



ノブを押上げている間、ハンドル位置を上下に変えることができます。

1. 適切な位置でノブをはなせば、ハンドルはその位置でロックされます。
2. 調整後は、ハンドルを上下に動かしてロックされたことを確認してください。



ハンドルの位置調整は、車を運転する前に行なってください。車が動いているときの調整は、危険です。

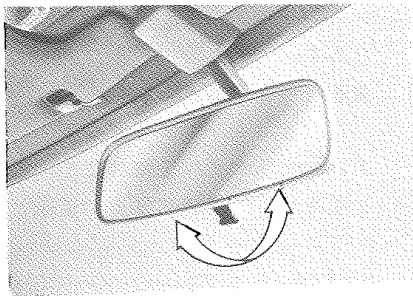
*印のついているものは巻末の装備品一覧表をご覧ください。

■ ミラー調整

後方視野が十分確認できる位置に調整しましょう。

防眩式インナー・リヤ・ビュー・ミラー

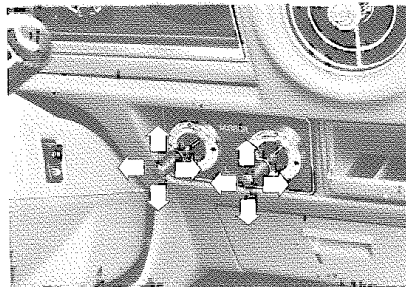
STD車は除く



後続車のライトがインナー・ミラーに反射してまぶしいとき、ミラーの下にあるレバーを手前に引くと後続車のライトの確認が楽になります。

ハードトップ車の場合、夜間ルーム・パーティション・ドア(30ページ参照)をひらいた状態で走行するとミラーにリヤ・ランプの光が映ることがあります。その場合は通常の位置(レバーを前側に倒した位置)にしてください。

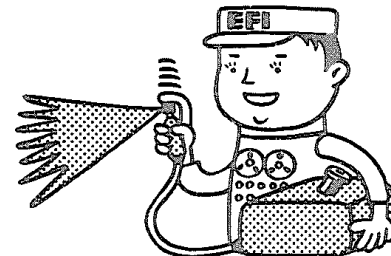
リモート・コントロール・ミラー*



上下左右のノブの動きは、アウター・リヤ・ビュー・ミラーと連動になっています。

■ EFI (電子制御式燃料噴射装置)

M-EU, 4M-EUエンジンとう載車



無線装置を取り付けると、エンジンに異常をきたすことがあります。取り付ける際には取り扱い店にご相談ください。

*印のついているものは巻末の装備品一覧表をご覧ください。

■ESC

(電子制御式スキッド防止装置)*

ESCはすべりやすい路面や、高速走行における制動時の横すべりを防止する装置です。

走行前のチェック

1. ブレーキ・ペダルを踏み、エンジン・スイッチをONにすると、エンジン・ルームから作動音“コトン”が聞こえます。
2. 作動音が聞こえたらESCは正常です。

走行中のチェック

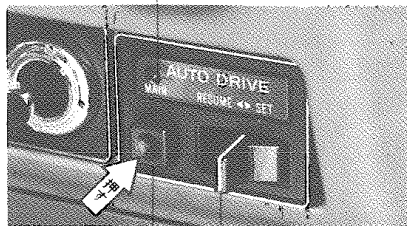
走行中、赤色のブレーキ警告灯が点灯した場合は、ESCなどブレーキ系統に故障が生じています。

★万一、ESCが走行中、故障した場合には、普通のブレーキ機構にもどります。

★無線装置を取り付けるとESCが、誤って作動することがあります。取り付けの際には取り扱い店にご相談ください。

■オート・ドライブ*

インジケーター・ランプ



メイン・スイッチ コントロール・スイッチ
 オート・ドライブはアクセル・ペダルを踏まなくても車速を一定に保つ装置です。40～100km/hの任意の速度で定速走行することができます。

1. 希望速度にセットするとき

メイン・スイッチを押すと、インジケーター・ランプが点灯します。次にコントロール・スイッチをSET側にいったん押すと、そのときの速度にセットされます。

2. 一時的に増速したいとき

(オート・ドライブ走行中)
 アクセル・ペダルをそのまま踏み込んでください。アクセル・ペダルをはなせば再びもとの設定速度にもどります。

3. 増速セットするとき

(オート・ドライブ走行中)
 アクセル・ペダルをそのまま踏み込んで希望の速度に達したら、コントロール・スイッチをSET側にします。

4. 減速セットするとき

(オート・ドライブ走行中)
 ブレーキ・ペダルを踏むことにより減速して、希望速度まで減速したらコントロール・スイッチをSET側にします。

5. オート・ドライブ状態を解除するときは

ブレーキ・ペダルを軽く踏みます。

6. 次の場合も解除できます。

- (1) オート・ドライブ・メイン・スイッチを「OFF」にしたとき
- (2) シフト・レバーを \textcircled{R} にしたとき
 (オートマチック・トランスミッション車)
- (3) クラッチ・ペダルを踏んだとき
 (マニュアル・トランスミッション車)

*印のついているものは巻末の装備品一覧表をご覧ください

(4) 車速が約40km/h以下になったとき

(5) パーキング・ブレーキ・レバーを引いたとき

7. 解除前の設定速度に復帰させたいとき

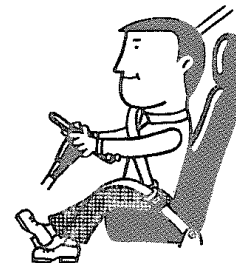
5. および6. の(2), (3), (5)の解除方法で一度、オート・ドライブが解除されても、コントロール・スイッチをRESUME（復帰）側に押すことにより、自動的に解除される前の設定速度までもどり、その後、定速走行を維持します。



1. メーン・スイッチをOFFにすれば、オート・ドライブの全動作を停止、解除できます。
2. オート・ドライブを使用しないときは、安全のためメーン・スイッチをOFFにしておいてください。
3. ブレーキ・ペダルの操作により解除するときは後続車に注意して行なってください。

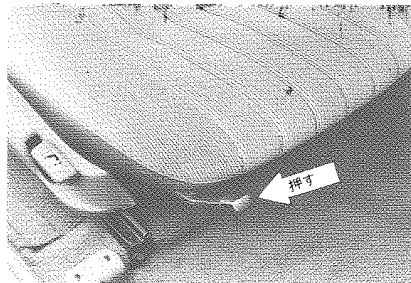
シートの調整

■ フロント・シートの位置調整



ペダルが十分踏み込むことができゆとりある位置に調整しましょう。
位置調整は必ず走行前に行なってください。

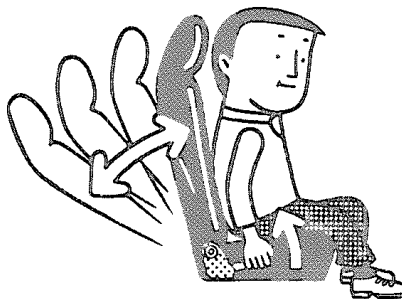
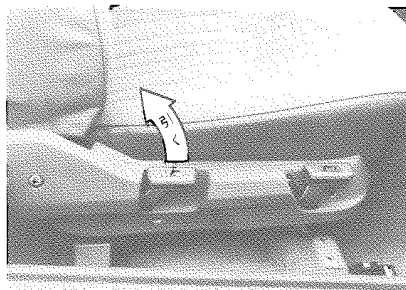
前後位置調整



レバーを外側に押している間、前後の位置調整ができます。
調整後はシートがロックされたことを確認してください。

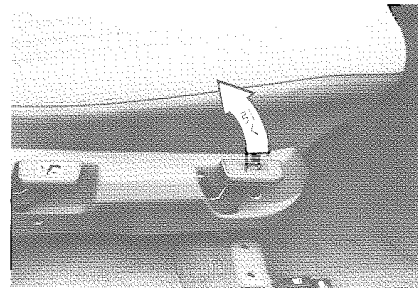
リクライニング調整

ベンチ・シート車を除く



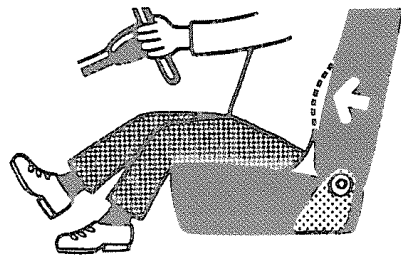
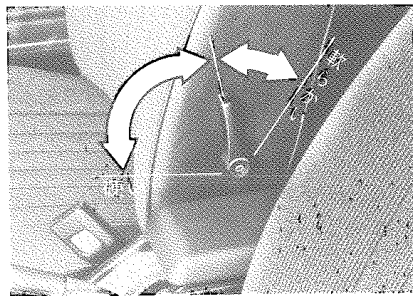
レバーを引き上げると、シート・バックの角度が調整できます。
調整後はシート・バックがロックされたことを確認してください。

■ 上下アジャスター *



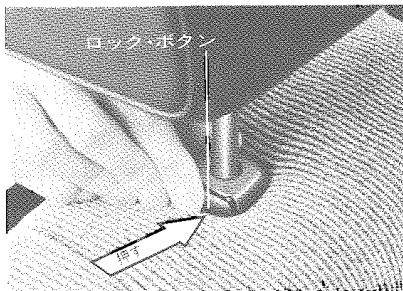
シート・クッション右横のレバーを引いてシート・クッション前部の高さを3段階（上、中、下）に調整することができます。
適切な高さにした後、レバーをはなすとシート・クッションは固定されます。

■ランバー・サポート(腰椎支持) *



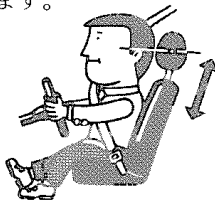
レバー操作で、背もたれの腰部の硬さを3段に変えられます。

■ヘッド・レストの位置調整



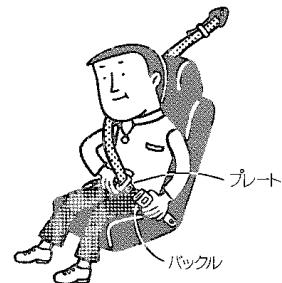
ヘッド・レストの中央が耳の上端付近の位置になるように高さを調整してください。

下げるときは、ロック・ボタンを押しながら下げます。



1. 正しい位置で使用してください。
2. シート・バックと背中の中に厚いクッションなどを入れると危険防止に役立ちません。

■フロント・シート・ベルト装着のしかた



ELR (緊急時ロック式リトラクター) 式シート・ベルト

セダン/バンのSTD車は除く

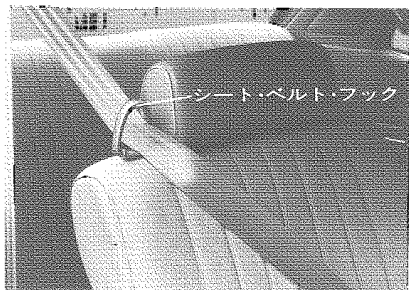
通常は引き出し巻き取りが自由なため、ベルトの長さを調節する必要はありません。ただし、緊急時には、自動的にロックされます。

1. シートを調整し、正しい姿勢ですわります。
2. 巻き取り装置からベルトをゆっくり引き出し、ねじれていないことを確かめてプレートをカチッと音がするまで押し込んでバックルにはめます。

ハードトップ車のみシート・ベルト・

*印のついているものは巻末の装備品一覧表をご覧ください。

フックが装備してあります。肩ベルトをシート・ベルト・フックに通してください。



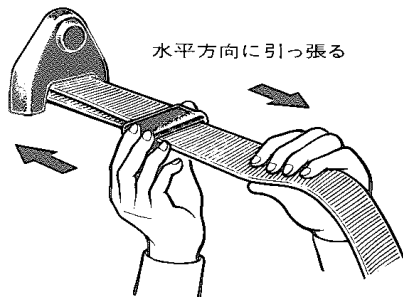
テンション・リデューサー付きフロント・シート・ベルト ハードトップ車のみ
 取り扱いにはELR式シート・ベルトと同じです。

テンション・リデューサー（ベルト巻き込み力減少装置）により、シート・ベルトによる肩への圧迫感をなくしています。

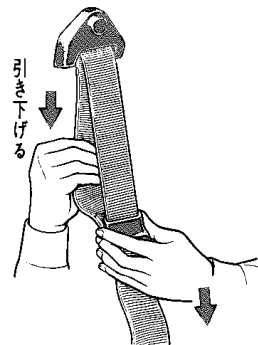
**NLR（ノン・ロッキング・リトラクタ
 ー）式シート・ベルト** STD車のみ

1. シートを調整し、正しい姿勢ですわります。
2. 巻き取り装置からベルトをいっぱい引き出し、ねじれていないことを確かめてプレートをカチッと音がするまで押し込んでバックルにはめます。
3. 巻き取り装置からベルトをいっぱい引き出した状態で、腰部ベルトが腰骨の位置にピッタリするまで肩ベルトを調節します。
4. 胸と肩ベルトの間に、にぎりこぶしひとつ位までの余裕を保ち、肩ベルトを調節します。

〈長くする場合〉

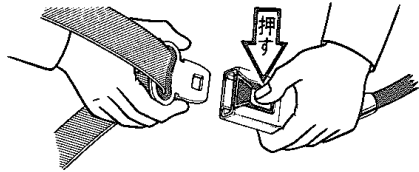


〈短くする場合〉



1. 調整は、必ず走行前に行なってください。
2. ベルト装着後、巻き取り装置からベルトがすべて引き出されていることを腰部ベルトを引っ張って確認してください。

取りはずしかた



バックルのボタンを押すとはずれます。プレート側のベルトは自動巻き取り式ですので、ベルトをはずすと自動的に格納されます。

■ リヤ・シート・ベルト

バンのSTD, DX車は除く

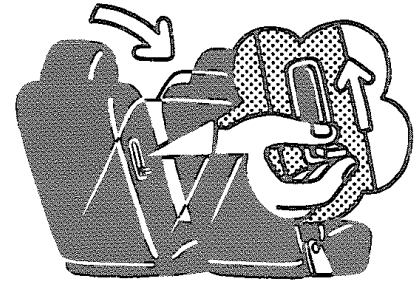
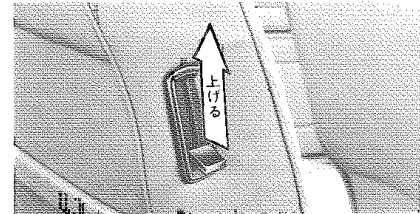
プレート側のベルトの長さを調整し、プレートをカチッと音がするまで押し込みバックルにはめます。

調整のしかたは、フロントのNLR式シート・ベルトと同じです。



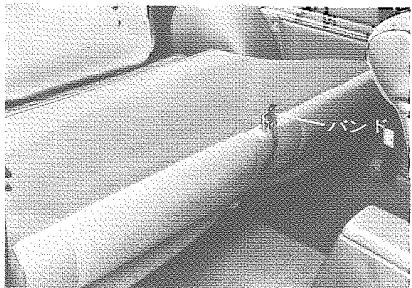
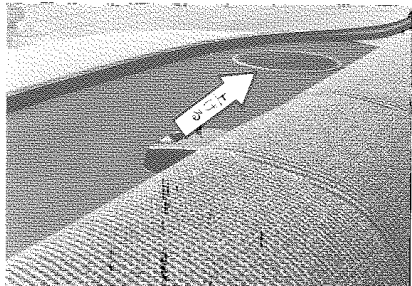
1. 腰部ベルトは、必ず腰骨の位置に装着してください。腹部にかけると万一のとき非常に危険です。
2. ベルトのよごれは、中性洗剤を溶かしたぬるま湯を使いブラッシングして落としてください。
3. 2人以上で1本のベルトを使用しないでください。

■ ハードトップ車の後席への乗り降り



1. シート・バック横のレバー（助手席側のみ）または、シート・リクライニング・アジャスト・レバーでシート・バックを倒します。助手席、シート全体が前方へ移動し後席への乗降が楽になります。
2. 助手席をもとにもどすときは、シート・バックを起こしてシート全体を後方へ押すと、中央の位置で固定されます。

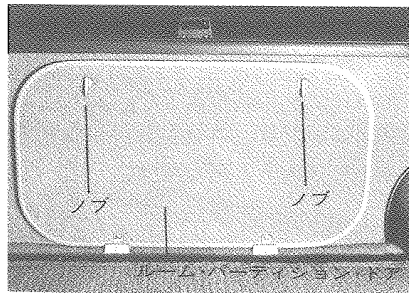
■ハードトップ車のリヤ・シートの倒し方 *



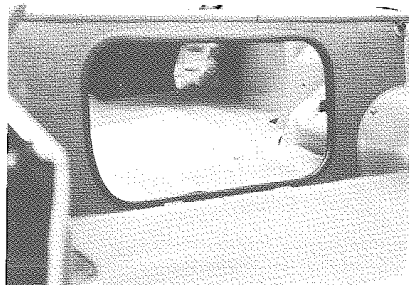
リヤ・シートを倒すことにより、後席に手荷物を置くことができます。

1. ロックのレバーを持ち上げてシート・バックを倒します。
2. バンドでシート・バックを固定します。

長い物(スキー板)などを積むには――



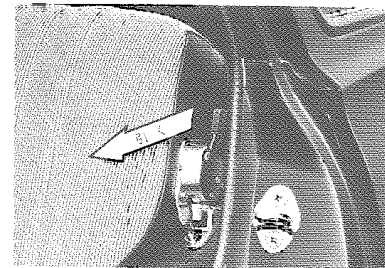
ノブを回して取りはずします。



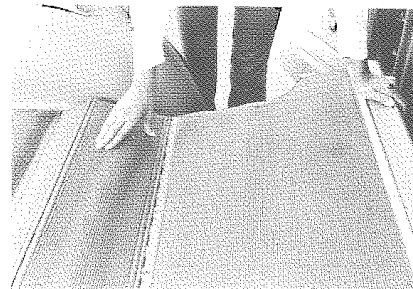
取り付けるときは、ドア下方の丸印と矢印を合わせます。

■リヤ・シート

ワゴン/バン、コラム・シフト車



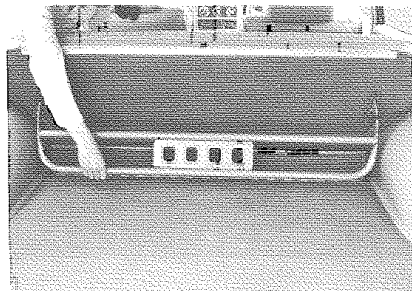
1. ロック・レバーを前に引きます。



2. シート・バックを前に倒し、中央部のパネル部を押え固定します。
3. 起こすときは、中央部のパネルを持ち上げて起こして下さい。後ろに押えつけ、確実に固定して下さい。

*印のついているものは巻末の装備品一覧表をご覧ください

パン、フロア・シフト車



1. シート・バック裏のハンドルを引き上げてから前に倒します。



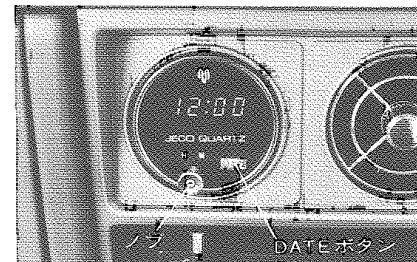
2. 中央部のパネルを押えつけ固定し、次にハンドルを起こしてください。

3. 起こすときは、中央部のパネルを持ち上げてから、シート・バックを起こします。
 いっぱいに起こしてからハンドルを倒し、シート・バックを押えつけて固定します。

室内装備の 使い方

■時計*

日づけ付水晶式デジタル



エンジン・スイッチがACC, ONの位置のときに時刻が表示され、**DATE** ボタンを押すと約6秒間月日表示をします。

1. エンジン・スイッチをLOCKの位置にすると、時計はそのまま作動しますが表示は消えます。
2. ライト・コントロール・スイッチがONのときは、減光して表示されます。

*印のついているものは巻末の装備品一覧表をご覧ください。

＜時刻調整＞

1. 時報に合わせる時

ノブを手前に引っ張ると同時に、スタートします。

また時刻は

0～29分は切り下げて表示されます。

(例) 1：29→1：00に調整されます。

30～59分は切り上げて表示されます。

(例) 1：40→2：00に調整されます。

2. “時”調整

ノブを押したまま左へ回すと時間表示が早送りされます。

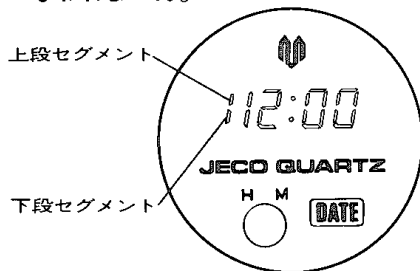
3. “分”調整

ノブを押したまま右へ回すと分表示が早送りされます。

★時刻調整時、左側のセグメントが点滅します。上段が点滅するときは午前を、下段が点滅するときは、午後を示します。

時刻調整の時に午前と午後を正しく

選択しないと日づけ変更が正しく行なわれません。



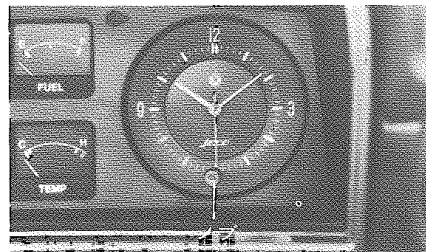
＜日づけ調整＞

DATE ボタンを押して6秒以内にノブを押して左へ回すと月が、右に回すと日が早送りします。

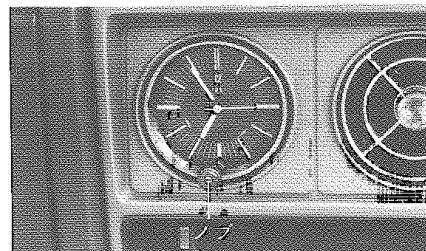
★日づけ表示は2月の場合は29日まで表示しますのでうるう年以外年には調整が必要です。2月以外の月は自動的に変更されますので調整の必要はありません。

★一度電源が切れた（バッテリーをはずしたときなど）あと、電源が接続されると1月1日1：00分にセットされ、同時に表示が点滅し調整が必要なことを示しますので、正しい月日、時刻に調整してください。

音さ式



水晶式

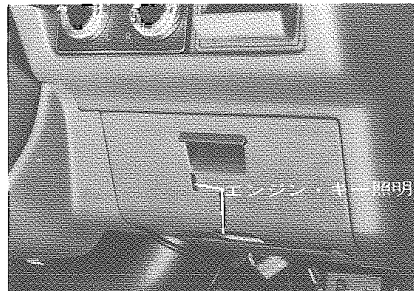


時刻調整は、ノブを引いたまま回します。



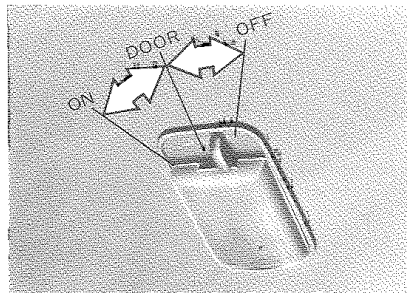
音さ式時計はバッテリーをはずすと次につないでも時計は止まったままになります。ノブをいっぱい引き手をはなすと秒針が動き始めます。

■エンジン・キー照明 *



運転席側のドアにキーを差し込み、解錠位置に回すと、キーをもどしたときから約30秒間ヒューズ・ボックス内にあるランプが、エンジン・スイッチおよび足元を照らします。ただし、エンジン・スイッチをONにすると消灯します。

■ルーム・ランプとドアの関係

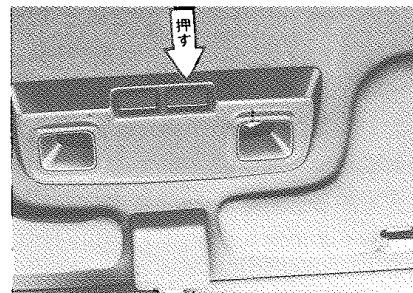


ON.....ドアの開閉に関係なく点灯します。

DOOR.....ドアをあけたときのみ点灯します。

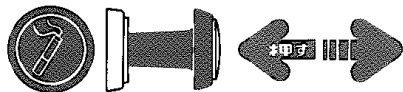
OFF.....ドアの開閉に関係なく消灯します。

■フロント・パーソナル・ランプ *



スイッチ右側を押すと右側のランプが点灯します。もう一度押すと消灯します。左側も同様です。

■シガレット・ライター



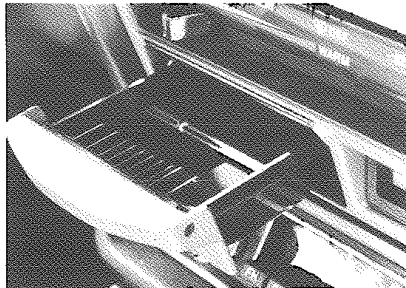
エンジン・スイッチが ACC か ON のとき使用できます。

ノブを押し込んだら、すぐ手をはなし、とび出すまで待ちます。



1. 押えつけたままにすると、シガレット・ライターが過熱し非常に危険です。
2. ソケットに他車のシガレット・ライターを差し込まないでください。
3. ソケットからは、電気掃除機、湯わかし器など、トヨタ純正品以外の電気製品の電源を取り出さないでください。

■灰皿



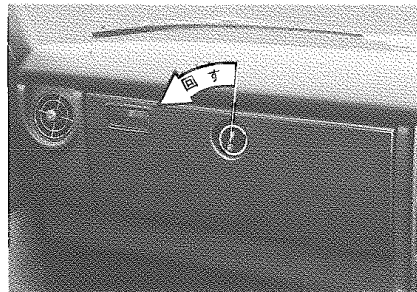
掃除するときは下へ押しながら引き出してください。



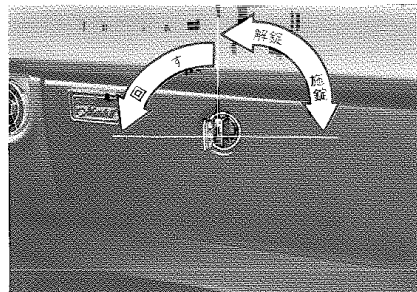
1. 使用後は確実にしめてください。あけたままにするとタバコの火が他の吸いがらに燃えひろがり火災になるおそれがあります。
2. 灰皿には吸いがらをためすぎないでください。
3. 灰皿の中に紙くずなどの燃えやすいものを入れないでください。
4. マッチ、タバコなどの火は消してから灰皿の中に入れてください。

■グローブ・ボックス

STD車



STD車を除く

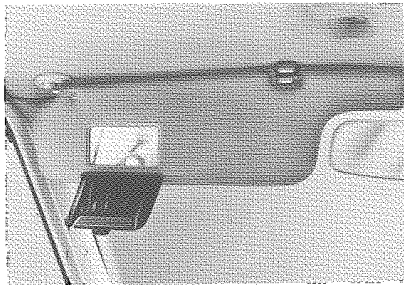


キーを差し込んで右へ回せば施錠できます。

サブ・キーは使用できません。

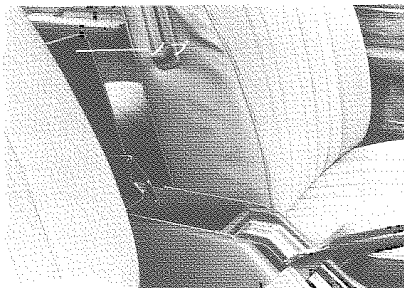
グローブ・ボックスをあけたまま走行すると危険です。必ずしめてください。

■化粧ミラー付きサン・バイザー ＊



助手席サン・バイザーの裏側に、ミラーがついています。

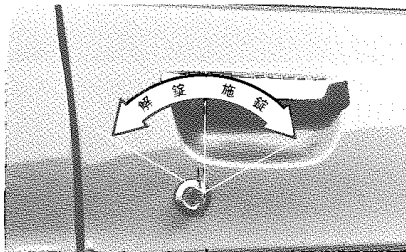
■コンソール・ボックス ＊



ノブを引くとフタをあけることができます。

車体各部の開閉

■ドアについて
フロント・ドア

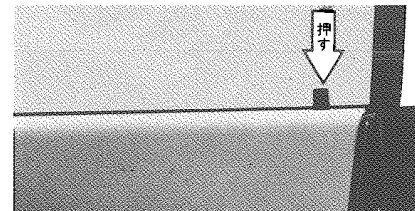


車からはなれる時はエンジンを切って
ドアをロックしてください。
法的にも義務づけられています。

ロックするには

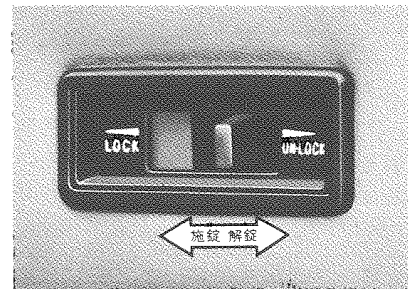
〈車内から〉

セダン/ワゴン/バン車



ロック・ボタンを押します。

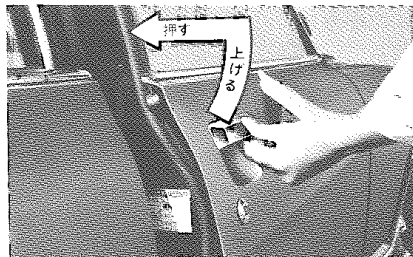
ハードトップ車



ロック・レバーを「LOCK」の位置に
します。

*印のついているものは巻末の装備品一覧表をご覧ください。

〈車外から〉——キーを使用しないとき



セダン/ワゴン/バン車

ロック・ボタンを押し、アウトサイド・ハンドルの内側を引き上げたままドアをしめます。

ハードトップ車

ロック・レバーを「LOCK」の位置にし、アウト・サイド・ハンドルの内側を引き上げたままドアをしめます。

リヤ・ドア

セダン/ワゴン/バン車

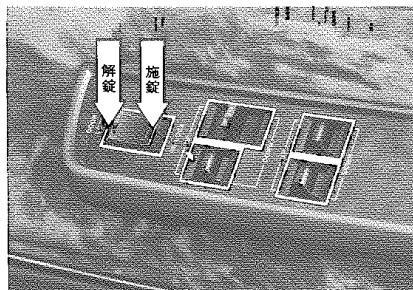
ロック・ボタンを押し、ドアをしめます。

ドアをしめるときは確実にしめてください。

半ドアは危険です。

■電磁式ドア・ロック

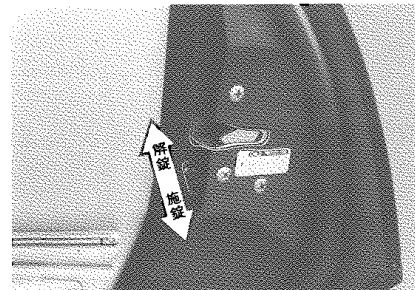
GRANDE車のみ



1. 運転席側のドアにマスター・スイッチがついています。
2. スイッチの DOOR LOCK 側を押すと全ドアが施錠されます。
3. UN LOCK側を押すと運転席以外のドアが解錠されます。運転席ドアは、ドア・インサイド・レバーを引けば解錠されます。
4. マスター・スイッチを押し続けると作動しないことがあります。いったんスイッチをはなして再度押してください。

■チャイルド・プロテクター

セダン車のみ

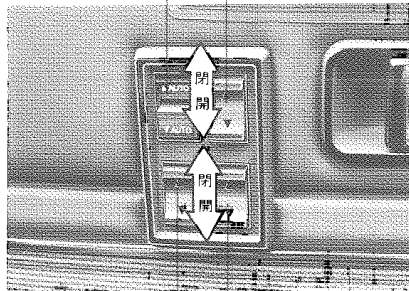


安全をはかるためにリヤ・ドアにはチャイルド・プロテクターがついています。お子様を乗せるときなどにご利用ください。

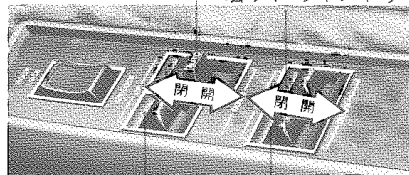
1. ロックの位置にしてドアをとじると、ロック・ボタンの位置（ロックまたはアンロック）には関係なくドアは車内からはあきません。
2. ドアをひらく場合は、ロック・ボタンを引き出したうえ、車外からアウトサイド・ハンドルを引きます。
3. 室内からあけたい場合は、ロック・ボタンを引き出しドア・ガラスを下げ窓から手を外に出しアウトサイド・ハンドルを引いてください。

■ワンタッチ式パワー・ウィンドウ*

GRANDE車を除く

右フロント・ウィンドウ
右リヤ・ウィンドウ左リヤ・ウィンドウ
左フロント・ウィンドウ

GRANDE車のみ

右フロント・ウィンドウ
右リヤ・ウィンドウ左リヤ・ウィンドウ
左フロント・ウィンドウ

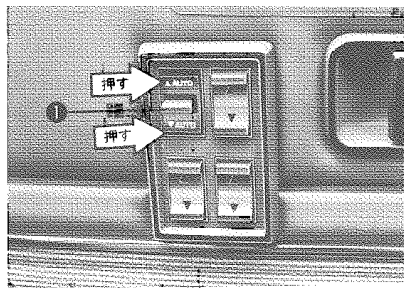
運転席側には、全ドアのウィンドウ・ガラスを開閉できるマスター・スイッチが取り付けられています。

その他のドアにもそれぞれのウィンドウ・ガラスを開閉できるスイッチがっています。

右フロント・ウィンドウはワンタッチで全開、全閉することができます。

右フロント・ウィンドウの開閉

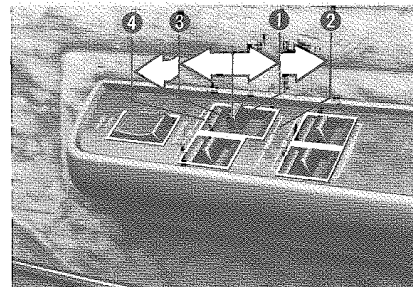
GRANDE車を除く



上側の **AUTO** を押すと全閉、下側の **AUTO** を押すと全開します。

途中で止めたいときは、①のスイッチを逆方向に押してください。

GRANDE車のみ



①押ししている間下降します。

②自動で全開します。

③押ししている間上昇します。

③の位置でスイッチをいったん下に押し、④の位置まで動かすと自動で全開します。

自動開閉を途中で止めるには、スイッチを③または①の位置にしてください。

☆ウィンドウの開閉は、エンジンがかかっているときに行なってください。

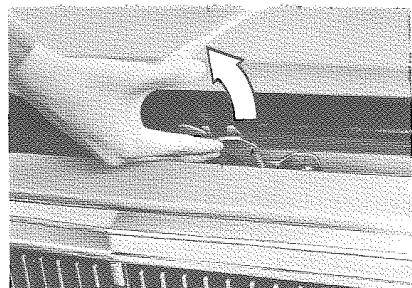
☆しめるとき手などをはさまないように注意してください。

☆マスター・スイッチと他のウィンドウ・スイッチを同時に逆方向に動かさないでください。

* 印のついているものは巻末の装備品一覧表をご覧ください。

■ エンジン・フード(ボンネット)

1. 計器盤右下のレバーを引きます。



2. エンジン・フードのすき間に手を入れ、セーフティー・ラッチをはずしてエンジン・フードをいっぱいあけます。
3. とじるときは、フードを下げて前端を押えつけ、しっかりロックしてください。



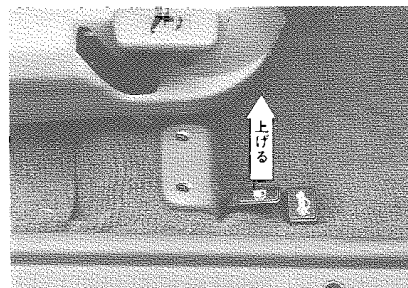
エンジン・フードが、半ロックのままで走行すると非常に危険です。確実にロックしていることを確かめてください。

■ ガソリン・タンク・キャップ

<車内から>

—フューエル・リッド・オープナーで

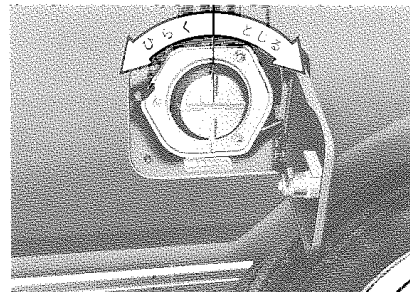
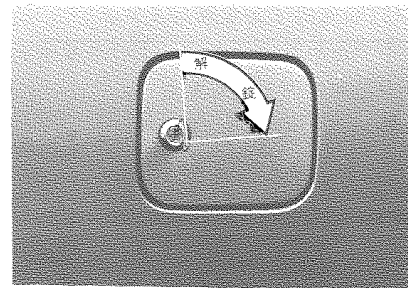
STD車を除く



フロント・シート右下のレバーを上へ引くとカバーがひらきます。

エンジン・キーをLOCKの位置にしてからレバーを引くようにしてください。

<車外から>——キーを使って



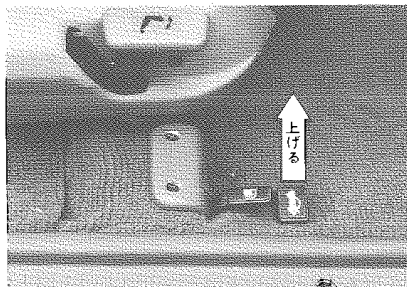
キーを右に回したまま手前に引き、ガソリン補給口のふたをあけます。キャップは左に回すとはずれます。

ガソリン補給のときは、必ずエンジンを停止してください。

■トランク

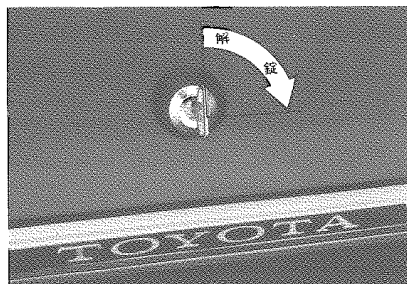
〈車内から〉——トランク・オープナーで

バン/ワゴン/STD車を除く



運転席のシート右横にある、レバーを
引き上げてください。

〈車外から〉——キーを使って



キーを差し込み、右に回します。

サブ・キーは使用できません。

とじるときは、上から手で押えつけて

ロックしてください。

また、キーを差し込み左に回しておけ
ば、トランク・オープナーではトラン
クをあけることができません。

キーをトランク内に置き忘れないよう
にしてください。

トランク・ルーム・ランプ *

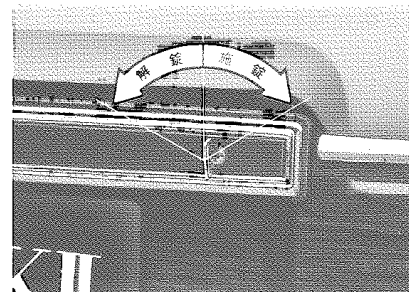
トランク・リッドをあけると、ランプ
が点灯します。

■バック・ドア

バン/ワゴン車



1. バック・ドア・ハンドルの内側を
引き上げます。
2. ひらくと、バック・ドア・ランプ
がつきます。
3. とじるときは、バック・ドアをその
ままおろし、上から押えつけてます。



*印のついているものは巻末の装備品一覧表をご覧ください。

4. キーを差し込み、右へ回すと施錠
できます。



1. 走行中にひらくと危険です。確実にロックしていることを確かめてください。
2. 荷台には、人を乗せないでください。万一の場合、ケガをするおそれがあります。
3. バック・ドアは、いっぱい上に持ち上げて降下しないことを確認してください。
4. バック・ドアをしめるとき、他の人の手などはさまないように注意してください。